



Minami-hatoba_1(Shirouyasu_Suzuki)

2006-02-28

アクセス解析、埋め込み。

12:33:20 - shirouyasu - No comments

原稿「詩の現前へ向かって」を書肆山田に送る。

27日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、イメージスキーマとして「リンク」「中心・周辺」「統一性のあるなし」ということが書かれていた。「彼と彼女は結ばれている」「彼が中心になって頑張ってる」「あのチームはばらばらだよ」など。日録をノートして、「詩の現前へ向かって」の原稿を読み返して手を入れてから、メールで書肆山田へ送る。[カタバミの花](#)をBlosxomBlogに入れる。1月に学生たちから貰った花束がとうとう枯れたので捨てる。麻理と餃子と残りのおじやで昼食。miniDVテープのダビングのやり方を麻理に教えて、2時過ぎに家を出て、地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛へ。多摩美に行き、共通学科の研究室で教務主任たちの話し合いに立ち会って話を聞く。映像演劇学科の研究室に戻って、「紀要」の校正をもう一度見る。6時過ぎに、4年生の新名さんと福村さんとさくら庵に行ききじやき重を食べながら話をする。さくら庵で林檎を貰う。地下鉄で帰宅。眠いのでちょっとベッドに横になる。仕事場に下りて、かわなかさんからメールで送られてきた「記念文集」にわたしの映像作品について書いてくれた文章の原稿を読む。メールの返事。「詩の現前へ向かって」の原稿が長すぎるということで、ちょっと削る。居間に行って、林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。また、仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:08:59 - shirouyasu - No comments

2006-02-27

「るしおる」の原稿「詩の現前へ向かって」を書き終える。

26日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、イメージスキーマに複合する言語主体の視点ということが書かれていた。「容器」のイメージスキーマの場合、「頭が試験のことでいっぱい」というときは、容器の中の実と虚を見るという視点だが、「彼の心は開かれている」という場合は、容器の内外の境の開閉を問題とする視点だということ。[水仙の三つ目の花が咲いた](#)のを室内から撮って仕事場に下りて、日録をノートしてから、水仙の花をBlosxomBlogに入れる。須永紀子詩集『中空前夜』について書き始める。3時過ぎて麻理と蕎麦で極端に遅い昼食。食後、ちょっと仮眠。コーヒーを飲んで、仕事場に下りて、原稿を書き継ぐ。6時前に麻理はみそ汁を作って出掛ける。7時半頃、ベーコンエッグを作って、みそ汁と昨日のおじやで夕食。食後、寝室のベッドに横になってNHK大河ドラマ「功名が辻」を見る。コーヒーを飲む。仕事場に下りて、原稿を書き継ぎ、11時廻って一応書き上げる。詩を読むことは、詩の表現の現前へ向かうことだというテーマに従って、『神の子犬』と『中空前夜』を読んだという文章。詩人が詩を書いている、その現前へ向かって、書き終わって抜け殻となった詩を読むというのは凄く難しいということがよく解った。しかしそれをやらなければ、活字で並んでいる詩を人間の行為として取り戻すことはできない、という思いも強くなった。居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場に来て、mixi、そして「灰皿町blog日記」を書く。

01:54:13 - shirouyasu - No comments

2006-02-26

Navigation

[Previous 月](#)

[Next 月](#)

[Today](#)

[Archives](#)

[Admin Area](#)

Categories

[All](#)

[General](#)

灰皿町の本

●[幻想小説『なめくじキーホルダー』清水鱗造](#)

●[「週刊読書人」詩時評一九九二-一九九三年 清水鱗造批評集 第二分冊](#)

Search

イメージフォーラム付属映像研究所Bクラス卒業作品の講評。

25日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、イメージスキーマが心理的な実在性を失っていく過程があるということが書かれていた。「蛇が穴から出てきた」「いい色が出てきた」「霧が出てきた」という表現で、「出てきた」が使われているための容器のイメージスキーマが「穴」でははっきりしているが、だんだんと曖昧になり薄れて行っているというのだ。なるほど、霧の出所を云々することはないですね。今日は、朝食を食べている間に風呂を沸かして、トイレから出たら、久しぶりにストレッチ体操をして、うっすらと汗をかいて風呂に入った。昨年の[シクラメンが咲いた](#)ので撮って、仕事場に下りて、BlosxomBlogに入れる。昨日書いた『神の子犬』についての文章を書き継ぐ。2時頃、麻理と蕎麦で昼食。文章を続けて、4時前に家を出て、地下鉄で表参道で下りて、人通りが多い青山通りを歩いてイメージフォーラムへ。4時半から、かわなかさんとBクラスの卒業作品の講評。8時前にイメージフォーラム特製のカレーの夕食。その後講評。9時頃、早めに終えて、かわなかさんや生徒たちと宮益坂のウエストへ飲み行く。10時過ぎにわたしは一足先に帰宅。夕刊を読みながら、林檎、薩摩芋、最後の饅頭、牛乳。五輪のアルペンの日本選手が滑るのを見てから仕事場に下りて、mixiを見て、「小指値のブログ」を見て、「灰皿町blog日記」を書く。

00:43:20 - shirouyasu - No comments

2006-02-25

藤井貞和詩集『神の子犬』について書く。

24日の朝は、5時起きしてトリノ五輪の女子フィギュアを見る。荒川選手の金メダルはよかった。テレビで何回も見せられて頭に焼き付く。「風のハルカ」「かりん」「毎日モーツアルト」「トクダネ」と見て起床、朝食、朝刊、そしてトイレで読んだ「認知言語学原理」には、物のイメージを抽象化したイメージスキーマを作り、それで表現をするということが書かれていた。「容器スキーマ」によって、出入りを表現する。「あの会社に入る」「大学を出る」など。日録をノートする。昨年買った[シクラメンの蕾が大きくなった](#)のを撮ってBlosxomBlogに入れる。石田（松山）由維子さんから作品のDVDが送られてくる。早速見て、手紙で返事を書く。そこに「表現の現前性」の、石田尚志さんのこの前のパフォーマンスについて書いた部分をプリントして同封する。雨が降ってきそうなのでポストに出しに行く。麻理と蕎麦で昼食。仮眠。起きてコーヒーを飲む。夕刊は荒川選手の金メダルが一面。仕事場に下りて、藤井貞和詩集『神の子犬』について書き始める。麻理が作ったおじやと生協で買った餃子で夕食。仕事場に下りて、文章を書く。11時廻って居間で林檎、薩摩芋、角きんつば半分、牛乳。また仕事場へ、「灰皿町blog日記」を書く。

00:40:22 - shirouyasu - No comments

2006-02-24

加納さんに会って、麻理が「インプロ」について話をする。

23日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、外界を認知するとき、外界の対象を先ずイメージにして、そのイメージによって認知して、このイメージを拡張して他のものにも当てはめ、更にイメージを作り直すというがあると書かれていた。[二つ咲いた水仙の花](#)を撮る。日録をノート。水仙の花をBlosxomBlogに入れる。多摩美の『研究紀要』のゲラが送られて来たので、それを読む。それから『神の子犬』を読む。麻理と蕎麦で昼食。『神の子犬』を読み終える。居間でコーヒーを飲んで、仕事場に下りて、須永紀子詩集『中空前夜』を再読する。「るしおる」に掲載する約束した詩集を読むということについての文章を書き始める。6時45分を廻って、麻理と出掛ける。下北沢の「Zu Inn」に行く。7時半に加納さんが来て、麻理がやっている「インプロ」などについて加納さんにいろいろと説明し話をす

Login

ログインID:

パスワード:

このPCを他の人と共用する

ログイン

Powered by



る。映像演劇学科の授業にコミュニケーション手段として演劇的モードについての授業を取り入れたらどうかというのがわたしの提案。ビールと鶏肉のアーモンド上げと温野菜とスパゲッティとその他。11時前にタクシーで帰宅。いつもの林檎、薩摩芋、饅頭、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、メールを見て、「灰皿町blog日記」を書く。

00:17:07 - shirouyasu - No comments

2006-02-23

扁桃腺炎で入院した野々歩を麻理と見舞いに行く。

22日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、運動感覚を元に外界を主観的に言い表す、ということが書いてあった。対象そのものが動いている場合は「自動車が走って行く」という言い方になる。静止しているものを主観的に動かす場合は「岬が島の方に伸びている」となる。静止しているものに対して言語主体が動く場合は「河幅がどんどん広がっていく」となる。[庭のバラの蕾](#)を撮って、日録をノートした後、BlosxomBlogに入れる。それから、手紙の返事を書いたり、領収書にサインしたりしてそれぞれ封筒に入れて封をして切手を貼る。最近では珍しいこと。麻理とかき揚げの天ぷら蕎麦で昼食。食後、仮眠。2時廻って、麻理と自転車で大橋の東邦医大の病院に行つて、扁桃腺炎で先週から入院している野々歩を見舞う。もう2、3日で退院するというので安心する。喉が弱いのはわたしの血筋の遺伝のようだ。面会室のテレビで、党首討論をやっていたが、前原党首は堀江メールが本物という証拠を出さなかった。帰り、大橋の丸正で野菜など買う。来たときと違う道を行こうとして行き止まりで、引返して、駒場高校のところから、淡島通りを越えて、東大駒場に出て、近代文学館ののところを通って帰る。コーヒーを飲んで夕刊を見る。南瓜を煮る。それから、『神の子犬』を読む。7時過ぎに南瓜の煮付けと、蕪のみそ汁と、丸正で買ってきた焼きシャケで夕食。食後、ベッドに横になってHDDに録画してあった量子コンピュータを作っている人の番組を見ながらちょっと眠る。仕事場に下りて、『神の子犬』を読む。11時半過ぎて、居間に行つてテレビでピアノの演奏をやっているのを見ながら、林檎、薩摩芋、饅頭、煎餅、牛乳。また、仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書く。

00:54:12 - shirouyasu - No comments

2006-02-22

福村さん松岡さんと一緒に食事。

21日に朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、「見立てモデル」ということが書いてあった。「問題解決に光が差してくる」は光を見立てる「光モデル」、「問題を解く」は固まっているのを解くわけで「分解モデル」、「糸口を掴む」は掴んだと見立てる「把握モデル」、「一件落着」は地に着いたと見立てる「着地モデル」というわけ。[カタバミの蕾](#)をBlosxomBlogに入れて、銀行に行つて現金を降ろしてくる。帰りにパルケであぶらげと焼きちくわとかき揚げを買う。あぶらげと焼きちくわの蕎麦で昼食。仮眠。多摩美4年の福村さんに電話して、1年の時の「夜の散歩」の発表を撮ったテープを渡すために、7時に八子公前で会つて一緒に食事する約束をする。その後コーヒーを飲んでから、藤井貞和詩集『神の子犬』を再読し始めて、最初の方の数編の詩をコピーして、詩の言葉の一つ一つを、話し手の立場をしめすものとか、内容の主役となっているものとか、展開を示すものとか、などなど文の要素としての様態別にマークを付けてみる。また、月日に入つた初出記録をエクセルに取り込んで、月日データをソートして、制作順に並べ替えて、詩集に配置されている順番と書いた月日の順番を比べてみたりする。詩集に入っている詩は10年の間に書かれているが、「神の子犬」という言葉はその中の3年間に渡っている。あるいは、初出から書き直したか、ということが分かった。6時前に家を出て、小田急で新宿に出て、ヨドバシカメラで『Tiger UNIXのシステム構築』に出

ていた「Yellow Dog Linux」を買って、書籍の棚を見て、新宿駅から山手線に乗って澁谷に行き、丁度7時にハチ公前で福村さんと連れ松岡さんに会う。3人で「松川」に行きビールを飲んで、いろいろと楽しく話しながら鰻重を食べる。それから「羽當」に行きコーヒー。話が弾む。10時過ぎにタクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、饅頭、煎餅、牛乳。麻理と幾代昌子さんから送られて来た詩画集について会話。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:46:12 - shirouyasu - No comments

2006-02-21

『表現の現前性』を校正しに多摩美の研究室に行く。

20日に朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、感覚動詞のもダリティということが書かれていた。意味の拡張には視覚>聴覚>嗅覚>味覚といったように優位性が働いているということだ。10時過ぎに小林医院へ行って、診察して貰い薬の処方箋を貰う。血圧が高く薬が変わる。文教堂でCore DuoとIntelMacの記事が載っている「ASCII」を買う。雨が降り出す。パルケで海老の天ぷらとレタスなどを買って帰る。[紫陽花の芽](#)をBlosxomBlogに入れる。天ぷら蕎麦を作って昼食。2時頃雨の中出掛けて、地下鉄で多摩美へ。生涯学習の「詩の講座」の5月からの日程を決める。それから「記念文集」の原稿『表現の現前性』の校正をする。5時半に下校。自由が丘回りで澁谷に出て、「蓬萊亭」でひれかつ定食を食べてから、「東急セミナーBE」の講座「現代詩の広場」へ。9時に終わって長田さん、福留さん、森さん、川口さんといつもの店でビールとワインなどで懇談する。11時頃、タクシーで帰宅。夕刊を見て、林檎、薩摩芋、饅頭、煎餅、牛乳。仕事場に下りて、4年生が1年の時に撮ったDVのテープを探してから、見つけたことを福村さんにメールする。その後、「灰皿町blog日記」を書く。

01:30:24 - shirouyasu - No comments

2006-02-20

洗濯と掃除の日だった。

19日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、五感の言葉のうちで「視覚」が優先するということが書かれていた。「見る」が視覚から判断などを意味するように使われるということ。麻理は友達の研究発表を手伝うと、早く出掛けたので、洗濯物を洗濯機に入れて、猫の糞を処理して、居間からキッチンにかけて掃除機を掛けた。それから、庭に出て、草などの芽をいろいろと見た。昨年、挿し木したネコヤナギが根付いていて、まだ10センチぐらいの背丈なのに蕾をつけていた。暖かくて柔らかい風が気持ちよかった。そのか風の中に洗濯物を干した。仕事場に下りて、3日分の日録をノート。夏には枯れたかと思っていた[一年前に買ったシクラーメンの蕾](#)が大きくなってきたので撮って、BlosxomBlogに入れた。鰯大根を煮始めて、残り的大根とシメジでみそ汁を作って、納豆で昼食。ベッドの横になって、うとうとしながらテレビをつけると、先週見た早大のラグビー部が社会人チームの東芝と対戦しているので見始めて、ラグビー日本選手権の準決勝を2試合見てしまう。ラグビーは分からないが、凄い身体がぶつかり合っているのに引き込まれて見た。それから、仕事場に下りて、インターネットで『表現の現前性』の文章で使った「現前」というキーワードを検索で引いてきたら、フッサールとデリダのことが沢山出てきた。[「<現前>や<地平>などの哲学用語について」](#)というページがあって、分かりやすく書いてあったので、そのトップページに行ったら、[「京お菓子味見録」](#)という、京都の和菓子の食べ歩きが書かれたサイトだった。和菓子の味や風情を書くのにハイデッカーやデリダの用語を使っているようだ。7時半過ぎて、みそ汁と鰯大根で夕食。その後ベッドでNHK大河ドラマ「功名が辻」を見る。仕事場に下りて、4月以降の、講師として担当する多摩美の授業の日程をスケジュール帳に書き込む。それから、メールの受信簿の整理をする。居間に行って、

麻理から友達の発表の様子などを聞きながら、林檎、薩摩芋、昨日谷辺さんから貰った饅頭、煎餅を食べて牛乳を飲む。また、仕事場を下りて「灰皿町blog日記」を書く。

00:10:27 - shirouyasu - No comments

2006-02-19

大阪から来た谷辺桂子さんと会って話をする。

18日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、「目」とか「鼻」とか、五感の部位の名前の意味が拡張してできたイディオムのことが書いてあった。「目につく」「鼻がきく」など。[枯れたシクラメンの花](#)をBlosxomBlogに入れて、9時半前に家を出て澁谷まで地下鉄で行って、イメージフォーラム附属映像研究所へ。奥山さん、中島さんと10時からAクラス卒制作品の講評。途中の休み時間に、昨日行った「十字式」での治療の話をしてまだ痛いと話したら、奥山さんが「気功」をやってくれて、痛みが取れた。1時に終わって、富山さんと澁谷警察署裏の手打ちラーメン屋に行ってラーメンを食べて、渋谷駅前のハチ公のところに行き、2時に約束した大阪から来た谷辺桂子さんを待つ。25分待って来ないので行こうとしたら、2、3人離れた所に谷辺さんは立っていて、2時には来ていたということ。初めて会う人なので、彼女もわたしも気がつかなかった。澁谷エクセルホテル東急の5階の喫茶に行ったが混んでいるのでTOP1に行く。そこで、彼女が出した谷ひより詩集『単純幸福論』について、また詩のことをいろいろ話し、彼女の詩の書き方について詳しく聞いた。彼女の詩は、言葉を仕草のように並べて行くところに生活感情が表れてくる詩だ。5時に別れて、わたしは「Book1st」に行き、雑誌

「MacPower」と『Tiger UNIX的システム構築』を買った。それから東急本店地下でうなぎ弁当を買ってタクシーで帰宅。家の前に着いたら、一旦帰ってきて来た麻理がまた出掛ける所だった。着替えてから、買って来た本を見てMacminiにX11forMacをインストールする。この本を見ると、MacにインストールできるLinuxもあるようだ。多摩美の合宿を記録したHi8の古いテープを2本見る。8時頃、うなぎ弁当で夕食。ベッドでサッカーを見ながらうとうととする。居間に行って、照屋林助のテレビ番組を見ながらコーヒー、林檎。11時過ぎて仕事場を下りてmixiを見て「灰皿町blog日記」を書く。

00:36:47 - shirouyasu - No comments

2006-02-18

十字式健康普及会に行って腰痛の治療を受ける。

17日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、五感を表す言葉の意味の拡張のことが書いてあった。「暗い顔をしている」「軽い男だ」など。10時過ぎに家を出て、小田急線で下北沢乗り換えで、吉祥寺の[「十字式健康普及会」](#)へ行って、腰痛の治療をして貰った。腰がねじれているということで、気合いをかけられるような治療でほとんど痛みが取れた。1分も掛からないで直るとというのが不思議だ。隣の古本屋で哲学の本を見て「新現象学運動」という本を買って帰った。井の頭線から小田急に乗り換えて東北沢で下りて家まで歩いた。下北沢から東北沢へかけて小田急を地下にする工事が始まっていた。帰宅して、麻理と厚揚げの煮込み蕎麦。仮眠。藤田まことの「はぐれ刑事純情派」を見てしまう。コーヒーを淹れて飲み、[サクラソウ](#)を撮って仕事場を下りて、BlosxomBlogに入れる。それから、「記念文集」の原稿『表現の現前性』を推敲する。7時頃、ハンバーグで夕食。仮眠。仕事場を下りて、もう一度原稿を見直し、細かく脱字などを点検する。原稿完成。いろいろとメールを見た後、映像演劇学科の助手の太平君宛にメールで送る。居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場を下りて「灰皿町blog日記」を書く。

00:28:13 - shirouyasu - No comments

2006-02-17

神戸出身の若い写真家・殿村任香さんと会う。

16日に朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、「真っ直ぐ」とか「曲がる」とかという物の形を表す言葉が、「彼は真っ直ぐな人だ」とか「道が曲がっている」などのように意味が拡張されていくということが書かれていた。昨日から腰が痛い。軽くストレッチ体操。生命保険の申込書を書く。[水仙の蕾](#)を撮る。DVカメラのスチル撮影でピント合わせに失敗して3回もやり直し。水仙の蕾をBlosxomBlogに入れて、「記念文集」の原稿「表現の現前性」の最後のところを書く。麻理と厚揚げ入りの蕎麦で昼食。2時半に家を出て地下鉄で澁谷に行く。ハチ公前で神戸出身の若い写真家・殿村任香さんと落ち合って、宮益坂の「セピア」へ行く。そこで殿村さんが撮った写真を見せて貰い、感想などを話す。4時半頃、「Book1st」の前で別れて、わたしは本を見てから、麻理に電話して東急本店の地下で夕食の惣菜を買ってタクシーで帰宅。夕刊を見て、6時過ぎに夕食。仮眠。9時過ぎにコーヒーを飲んで仕事場を下りて、『表現の現前性』に手を入れて、プリントして推敲する。15600字余りになった。文章の趣旨は、「表現というのは、表現行為として形の細部を作っているところ、つまり形という今を生きているところにあって、その結果の作品は抜け殻に過ぎない。その表現の現前を考える。」というもの。昨年「るしおる」に書いた『詩の実質』の「実質」をひろげて「表現の現前性」として考えたといえる。12時前に居間に行って、林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:36:02 - shirouyasu - No comments

2006-02-16

四月の陽気というほどの暖かい日。

15日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、空間認知の言葉が身体的な意味合いを別の領域にまで拡張して使われるということが書かれていた。「上・下」が社会的な上下関係に使われたり、「前・後」が空間の認知にかかわる言葉なのに時間を表すところまで拡張しているというわけで、このように身体的な認知が概念的なところまで拡張して使われるというのである。軽くストレッチ体操。仕事場を下りて、日録をノートして、「記念文集」の原稿に掛かる。麻理はお婆ちゃんのところに行った。2時頃、残りのかき揚げで天ぷら蕎麦を作って昼食。仮眠。4時前に自転車でパルケに行って、夕食のおかずにカツを卵と玉葱で煮た「煮カツ」というのを買い、その他に鰯と大根、中村屋の一口羊羹と角きんつば、紅玉などを買って帰る。薄いコートを引っかけて行ったが暑い感じだった。帰って、鰯は冷凍した。コーヒーを飲んで仕事場を下りて、原稿の続き。6時過ぎて、豆腐のみそ汁を作って、「煮カツ」を温めて一人で夕食。夕食後、風呂の水を換える。その間に[枯れたガーベラの花](#)をBlosxomBlogに入れる。テレビ。風呂に火をつけてから原稿。9時過ぎNHK「その時歴史は動いた」で「山内一豊の妻千代」を見る。帰ってきた麻理と話す。風呂に入る。その後、林檎、角きんつば、煎餅、牛乳。仕事場を下りて再び原稿。これで大体書けた。14000字を越えた。タイトルは「表現の現前性」とする。それから、「灰皿町blog日記」を書く。

00:40:36 - shirouyasu - 2 comments

2006-02-15

三浦淳子さんが九州から送ってくれた「ぼんたん」が届いた。

14日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知プロセスで身体性にかかわって言語表現の元になる経験の領域を「経験のドメイン」として、空間認知、体感、五感、運動感覚が挙げられていた。仕事場を下りて日録をノートしていると、宅急便で、三浦淳子さんが両親と九州旅行に行って、わたしに送ってくれた

「[ぼんたん](#)」と「たんかん」と「薩摩芋」が届いた。三浦さん、ありがとう。さっそくぼんたんを食べてみた。見たところ大きな夏みかんのようだが、綿のような皮が厚くて、半分に切っても手では剥けなかった。包丁で切り出してちょっと酸っぱいので蜂蜜を付けたら素朴な味で美味しかった。「記念文集」の原稿を書く。昼は厚揚げを入れた蕎麦。ちょっと仮眠。コーヒー。庭に出て水を蒔いたら、なま暖かい風が吹いていた。仕事場に下りて原稿を書き継ぐ。6時頃夕刊を読んだ後、ハンバーグを温めて、南瓜の煮付けと玉葱のスープで一人夕食。食後、仮眠。またコーヒー。仕事場に下りて、更に原稿を書き、12000字を越えた。居間に行って林檎、薩摩芋、煎餅、牛乳。カーリングで日本がロシアに負けたのをテレビで見る。メダルが一個も取れないというのは寂しい感じだ。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

00:23:46 - shirouyasu - No comments

2006-02-14

「記念文集」の原稿に「ライヴ・ペインティング」のことを書く。

13日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」は、第4章「外界認知と言葉の身体性」に入った。この章は「主体が外界を知覚し、外界を理解していく認知のプロセスには、外界にたいする主観的なパースペクティヴ、主体の身体性にかかわる視点が反映している」というところから出発するようだ。私学共済から勧められた退職後の保険について麻理が電話しているのを傍らで聞いている。[カタバミの花](#)を撮って仕事場に下りてBlosxomBlogに入れる。日録をノートする。それから、「記念文集」の原稿にかかる。昼は麻理とかき揚げ天ぷら蕎麦。食後、また保険について、どうもよく判らないところがあって電話。南瓜を煮る。原稿を書いている、文章のテーマが昨日の石田尚志さんの「ライヴ・ペインティング」を見た感じと重なるところがあると考えて、いっそのこと、それを書くことにする。南瓜を煮た後、玉葱をコンソメの元で煮てみる。更に原稿。夕食は南瓜の煮付けと玉葱の煮たのと焼いた助宗鱈。食後、寝室のベッドで横になってハードディスクに録画したNHK大河ドラマ「功名が辻」を見て仮眠。9時過ぎに起きてコーヒー。仕事場に下りて、石田尚志さんにメールしたりして、原稿を書き継ぐ。8500字ほどになった。居間に行って、林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。また仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

02:00:11 - shirouyasu - No comments

2006-02-13

石田尚志さんの「ライヴ・ペインティング」を見に行く。

12日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知プロセスのプロファイル・シフトということが書いてあった。「脇」という言葉を使った表現で、「脇にタオルを挟んだ」「駐車場の脇に車を止めた」というときの身体の脇からずっと離れた空間間で含まれることになるが、それがプロファイル・シフトということだ。[枯れた薔薇](#)を撮って仕事場に下りて、BlosxomBlogにい入れる。それから、「記念文集」の原稿に掛かる。今まで書いたところを読み返して書き直す。2時頃、カレー蕎麦を作って一人昼食。仮眠。ラグビー日本選手権のトヨタ対早大を見てしまう。起きて、コーヒーを飲んで仕事場に下りて原稿。6時半ごろ、麻理がハンバーグカレーを作ってくれて、一緒に夕食。食べ終わって、タクシーで「アップリンクファクトリー」へ。石田尚志さんの「ライヴ・ペインティング」を見る。客が多くて入れない人が出たので、2回公演となり、わたしは2回とも見る。ヴォイスパフォーマンスの足立智美さんの音と合わせたところが圧巻だった。石田さんの表現していることが単にアニメではなく、表現ということの「現前性を実現しようとしていることだ」と理解できた気がした。後で聞いたら、足立さんはわたしの早稲田での詩の講義を覗いたことがあるということだった。終わって会場の隣のレストラン

で、詩人の森川雅美さんと映像作家の黒坂圭太さんと話をした。飯村隆彦さんとも久し振りに会って挨拶した。多摩美の4年生の福村さん、井上さん、小林さん、松岡さんたちとも会った。11時廻ってタクシーで帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:31:22 - shirouyasu - No comments

2006-02-12

「記念文集」の原稿を書き進める。

11日の朝、6時過ぎに目を覚まして、トリノのオリンピック開会式の様子をテレビで見た。「風のハルカ」と「かりん」と、テレビ小説を二つ見て、8時半頃起床、朝食、朝刊、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、日本語の代名詞の「あなた」「そち」などは、認知プロセスの探索ドメインがプロファイルされて文法的に定まったものというようなことが書かれていた。軽くストレッチ体操。[花束の花](#)を撮って、仕事場に下りて、日録をノートしてからBlosxomBlogに花を入れる。それから「記念文集」の原稿を書く。1時過ぎに昨日のカレーで昼食。仮眠。3時頃起きてコーヒーを飲んで、原稿を書き進む。約3300字程書いた。8時近くトマトを切って、またカレーで夕食。ちょっと仮眠。コーヒー。仕事場に下りて、Hi8のデッキを交換してテープを確かめたり、顔写真コマアニメを作り直したりした後、メールの遣り取りをして、居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。また仕事場に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

01:00:33 - shirouyasu - No comments

2006-02-11

カレーを作り、「記念文集」の原稿に取りかかる。

10日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知プロセスの参照点ということで、日本語の「は」のことが書かれていた。「象は鼻が長い」というときの「象」という語は「鼻」の参照点になるということ。「父は趣味は写真は結構うまい」というようなときは、参照点が移動していくということ。軽くストレッチ体操、花瓶の花の水切りをして水を変える。それから、すっかり枯れたメキシカンセージの茎を切る。土を盛ったり肥料と入れたり、その他の鉢の世話もちょっとする。仕事場に下りて日録ノートして、[枯れたメキシカンセージの花](#)をBlosxomBlogに入れる。書肆山田の鈴木一民さんと電話で話す。麻理と豆腐煮込み蕎麦で昼食。ちょっと仮眠。それから自転車でコンドロイチンのサプリメントを買いに行き、パルケでカレーの食材と南瓜の煮付けの食材を買って来る。帰って、カレーを作り始める。5時頃一応出来て、仕事場に下りて、「記念文集」の原稿に取りかかる。8時近くサラダを作ってカレーで夕食。また仮眠。9時頃風呂に入る。ぼんやりニュースなど見て、麻理が帰ってきて話す。仕事場に下りて、メールして、「灰皿町blog日記」を書く。

00:21:38 - shirouyasu - No comments

2006-02-10

「イメージフォーラム・フェスティバル2006」にエントリーする。

9日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、参照点の問題点として、認知プロセスの話者と認知対象を含むグラウンドと、参照点を探すドメインということなどがあると書かれていた。言語現象を現実の基づいて考える仕方のことだが、やや分かり難くなって来ている。仕事場で、[カニサボテンの花](#)をBlosxomBlogに入れてから、11時半廻って家を出る。地下鉄で澁谷に出て、イメージフォーラムに行き、『極私的な多摩王の感傷』のエントリー用紙と粗編のminiDVのテープを事務所に提出した。その後、古本屋の中村書店をちょっと覗いて、澁谷から東横線で自由

が丘回りで上野毛へ。自由が丘の駅にエスカレーターが出来ていた。さくら庵で天ぷら蕎麦を食べて、汗で下着が濡れて気持ち悪いので、コンビニで下着を買い、多摩美のトイレで着替えた。2時から、映像演劇学科の臨時会議。4時過ぎに終わって、フィルム編集室のスタインバックでわたしの研究室にあった不明の16ミリフィルムを見たら、それがもう卒業した連中の1年生の16ミリの演習で撮ったものだった。その後、萩原さんと木村和代さんにスタインバックの操作の仕方を教える。萩原さんと駅前の飲み屋に行って、彼はお酒を飲み、わたしはビールを飲んだ後鰯の塩焼きで食事した。後から、木村さんも来る。9時過ぎに帰りに付く。表参道の構内でベーグルを買い、ウエラ原駅の近くのコンビニで饅頭を買って帰宅。帰宅して、林檎、ベーグル四分の一、饅頭半分、牛乳。夕刊を見て、仕事場を下りて、坪田義史君からメールで送られて来たシナリオを呼んで感想を送り、「灰皿町blog日記」を書く。

00:16:49 - shirouyasu - No comments

2006-02-09

『極私的な多摩王の感傷』の粗編版のテープを作る。

8日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、参照点ということが書いてあった。先行詞と代名詞の関係がこれに当たるとのこと。久しぶりに軽くストレッチ体操をやる。仕事場を下りて、『極私的な多摩王の感傷』の編集。坪田義史君の1年生の時の作品『[耳プール](#)』と小沢和史君の、やはり1年生の作品『[青空ジュース](#)』を短くして引用する。1時過ぎ、豆腐入りの煮込み蕎麦で麻理と昼食。仮眠。3時前に家を出て地下鉄で多摩美へ。生涯学習の「詩の講座」を5月からやることになる。4時から編入試験の合格判定教授会。終わって、清水邦夫さん、萩原朔美さんと上野毛駅前の喫茶店でコーヒーを飲んで雑談。それから3人でバスに乗って千歳船橋へ。小田急で萩原さんは梅ヶ丘へ帰って、清水さんとわたしは成城学園前まで行って、風月堂でまたコーヒーを飲んで話をする。7時前に別れて、わたしは駅の回りを歩いてトンカツ屋を探したが見つからなかったので、家に電話して麻理に夕飯の支度を頼んで小田急の急行で帰宅。急行で成城学園前から代々木上原まで10分だった。家に帰ってステーキとみそ汁で夕食。その後、ちょっと仮眠。9時頃仕事場を下りて、『極私的な多摩王の感傷』の編集。粗編で33分。「IF フェスティバル2006」のエントリー用にテープに書き出し試写して見たら、11時半を廻っていた。林檎を食べているとき、BlosxomBlogに[花束の飾りの花](#)の写真を入れるの忘れていたの思い出して、日付が変わる前に慌ててアップする。それから、アンパンとリーフパイを食べて牛乳を飲む。それから仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:29:50 - shirouyasu - No comments

2006-02-08

青柳龍太君の個展『ACT2』を見に行く。

7日に朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、参照点とアクチブゾーンのことが書いてあった。メトニミーは、空間的な領域に置き換えるトポニミーと部分に置き換えるパートニミーに分けて考えられるということ。「布団に入る」はトポニミー、「ハゲが怒っている」はパートニミー。禿げている人とハゲとはずれている、そこをアクチブゾーンというらしい。朝、起きたら[隣の屋根に雪が積もっていた](#)ので撮影した。それをBlosxomBlogに入れてから、『極私的な多摩王の感傷』のファイルの取り込みをする。昼はワカメの煮込み蕎麦を作って食べる。仮眠の後、コーヒーを飲んでから、取り込みを続ける。4時頃出掛けて、地下鉄で神楽坂の「AYUMI GALLERY」という画廊に行って、多摩美の卒業生の青柳龍太君の個展『ACT2』を見る。この「AYUMI GALLERY」は木造の普通の家の一階の二つの部屋を板の間にして展示会場にしてある。『ACT2』は、一方の部屋に河原で拾った

という小さな石がちょっと盛られていて、もう一方の部屋にある机の上に石が一個だけ置いてあって、それを見に来た人が床の上に落とし、落ちた石が部屋の中に位置を占めるというわけ。わたしも落とした。録音した石が落ちる音が流れていた。昨年、同じ画廊で『ACT1』をやったが、その時は、青柳君がその会場にいるというだけの作品だった。丁度会場にいた高橋洋介という芸大の先端を受験する予備校生と話をした。6時過ぎに代々木上原に戻り、ブルーベリーのサプリメントを買って、その近くの鰻屋「鮎輿」で鰻重を食べて帰宅した。1時間ほど仮眠。起きてコーヒーを飲みながら夕刊を見る。それから仕事場に行って、再び『極私的な多摩王の感傷』の編集に掛かり、11時過ぎに、ファイルを順番に並べただけの粗編を試してみた。それから、林檎、小さなアンパン、リーフパイ、牛乳。仕事場を下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:14:35 - shirouyasu - No comments

2006-02-07

『極私的な多摩王の感傷』の編集を始める。

6日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知の際の参照点がランドマークになり認知のターゲットがトラジェクターになるということ、またメトニミー（換喩）はこの参照点が言語になったところと書かれていた。[花束の名前がわからない花](#)をBlosxomBlogに入れてから、『極私的な多摩王の感傷』の編集の準備として、坪田君と小沢君の顔写真を卒業記念写真から抜け出てくるところを作った。Photoshopでコピーした顔を、段階的にだんだんと大きくして5枚のファイルにする。それをMacminiのiMovieでムービーファイルにした。PowerBookG4の細長いデスクトップではそのままではiMovieは使えないのだ。昼の煮込み蕎麦には豆腐に加えてコンニャクも入っていた。麻理は好きだから入れたと言うが、蕎麦にコンニャクは合わない感じ。食後、仮眠。3時頃起きてコーヒーを飲んで、「[多摩王スタイルのわたしの写真](#)」をDVカメラで撮影する。2000年度入学の1年生達の発表会のタイトルが「多摩王」で、わたしはそのポスターやDMのモデルを務めたのだった。上野毛駅前撮ったものや研究室で撮ったものが100枚近くあったので、コマ撮りにして使おうと思った。DVカメラで撮って、それをメモリに保存してPhotoshopで修正してiMovieでムービーにした。全部で1分ほどのムービーになったが、丸一日かかってしまった。豚肉の生姜焼きとビーフンの野菜炒めで麻理と夕食。食後、また仮眠。9時頃起きて仕事場を下りて、「多摩王ムービー」の制作。11時過ぎにようやく出来て、居間に行って林檎、薩摩芋、一口羊羹、煎餅、牛乳。また仕事場を下りて、テープをちょっと見てから、「灰皿町blog日記」を書く。

01:10:58 - shirouyasu - No comments

2006-02-06

多摩美造形表現学部の編入試験。

5日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、参照点能力ということが書いてあった。対象を認識するとき何かを参照するというのである。8時過ぎに[花束のガーベラの花](#)をBlosxomBlogに入れて、8時半過ぎに家を出て地下鉄で二子玉乗り換えで上野毛下車で多摩美へ。9時半打ち合わせ、10時から編入試験。わたしは提出された映像作品、シナリオ、写真などの採点をした。3時過ぎに、面接試験の採点と合わせて合否が決まった。5時に転部試験の面接までの間に、木村和代さんにキャンパス内を歩いているわたし自身の姿を、『極私的な多摩王の感傷』に使うために、miniDVで撮影して貰った。5時から転部試験の面接。その後、研究室の助手さん達と一緒にさくら庵から出前を取る。これは加納さんが御馳走してくれた。坪田君と小沢君たちの卒業式の記念写真を古いマックから探し出して、彼らの部分を引き伸ばす作業をやってみる。7時廻って下校。自由が丘回りで澁谷に出て、ビッグカメラで電力供給型のUSBハブとプリンタのインキを買ってバスで帰宅。着

替えて、仕事場に下りて、MacminiのiMovieで記念写真から坪田と小沢の顔が出てくるようになる粗いコマアニメのムービーを作る。10時から寝室のベッドの横になって「功名が辻」を見る。その後また仕事場に下りてパソコンの作業を続ける。林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。麻理から「横浜スピリチュアル・コンベンション」の話しを聞く。出来たムービーファイルをMacminiからMOディスクで運ぶ。そして、「灰皿町blog日記」を書く。

02:16:24 - shirouyasu - No comments

2006-02-05

「表現について」の原稿に取りかかる。

4日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知プロセスに於いて、言葉にする対象と言語主体の関係の場をグラウンド「G」として、その関係のあり方に3つの場合があり、「机の上に花瓶がある」というような対象に対して主体が客観的である場合、これをスコープの外といい、「頭の上に蛍光灯が点滅している」というように対象の領域に主体が入っている場合、これをマキシマル・スコープ「MS」といい、「隣に女の子がいる」というように主体が対象と関係を持っている場合、これをイメディエイト・スコープ「IS」というと書いてあった。仕事場に下りて、日録を書いて、[花束のスイトピーの花](#)をBlosxomBlogに入れる。それから、『極私的なる多摩王の感傷』の学生の顔の写真からワイプして卒業公演の一場面が入るといふ編集をやってみた。天野君、中林さん、野上さんから『顔よ、勃ったら1m』の場面が出てくるように編集してみた。昼食は昨日作ったカレー。仮眠。コーヒーを飲んでから、「多摩王」の写真のコマ撮りの順番を決める。それから仕事場に下りて、映像演劇学科の記念文集に載せる「表現について」の文章を書き始める。夕食は7時頃、また一人でカレー。食後、仮眠。9時頃仕事場に下りて、テープを整理して、文章をちょっと書いてから「灰皿町blog日記」を書く。

00:07:02 - shirouyasu - No comments

2006-02-04

映像作品の新作に取りかかる準備をした。

3日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、「He got off (the bus)」の例で、前置詞や副詞辞で表される行為が前景化することが書かれていた。昨日**貰った花束**を撮って、仕事場に下りて、日録をノートした後、BlosxomBlogに入れる。それから、「Final Cut Pro」で編集する準備をした。今日も麻理が豆腐入りの煮込み蕎麦を作って昼食。仮眠。3時頃、牡丹にやる油かすの肥料を買いに行き、文教堂でMacOSでXWindowをやる手ほどのムックを買って、パルケに行きカレーの食材を買って帰り、カレーを作る。それからコーヒーを飲んで、以前多摩美の学生達や作品を撮ったHi8のテープを見て、やや構成が浮かんできた。多摩美で出会った学生達のスチル写真の処理の仕方をやってみた。また、MacminiでXWindowを試みようとしたが、先ず、「X11」の在処が判らなかつた。夕食は、麻理が年取った人たちの演劇を見に行っていないので、一人でカレーの夕食。食後、直ぐに仕事場に下りて、Hi8からminiDVへのリレコなどする。10時過ぎに風呂に入り、その後に林檎、薩摩芋、角きんつばを半分、牛乳。仕事場に下りて、メールに返事。そして「灰皿町blog日記」を書く。

01:22:41 - shirouyasu - No comments

2006-02-03

多摩美映像演劇学科1年発表会の講評。

2日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、背景化して言葉では省略される部分のあることが書いてあった。例として、「だったら」という談話標識とし

て独立して使われる接続詞では、条件文が背景化して省略されているということだ。花束の花が萎れてきたので、花瓶を洗い、水を取り替えて、窓辺に置くことにする。[窓辺の花束](#)を撮ってから、仕事場に下りて、日録をノートしてから、BlosxomBlogに入れる。それから、Hi8のカメラで以前撮った多摩美の合宿のビデオを見る。思い出にのめり込みそうになる。今日も、豆腐入りの煮込み蕎麦を麻理が作って昼食。食後、1年の水谷さんのシナリオを読む。そして、これまでに多摩美で講義したときに作ったノートを整理してしてみる。4時廻って家を出て地下鉄で多摩美へ。上野毛のさくら庵で親子丼を食べる。かっちゃんとパソコンの話。多摩美の研究室へ。研究室にあるものを整理することを考える。6時半から、203教室で1年生の発表会の講評。怪獣に食べられた人たちが、自分たちは溶けて死んでいく、という台詞が印象に残ったことを話した。わたしは「溶けて死ぬ」なんていうことは考えたことがなかった。9時近く萩原さんと福島さんと駅近くの飲み屋で飲んでから、二子玉の居酒屋に行き、1年生の打ち上げに参加。そこで、担当の萩原教授、木村副手と定年で退職するわたしに学生達から[可愛い花束](#)が贈られた。彼ら彼女らの作品について突っ込んだ話をして、12時廻って、タクシーで萩原さんを送って帰宅。林檎、薩摩芋、一口羊羹、牛乳。夕刊を見てから、仕事場に下りて「灰皿町blog日記」を書く。

02:26:11 - shirouyasu - No comments

2006-02-02

南瓜を煮て、「Midnight Press」の原稿を書き上げる。

2月1日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、認知プロセスで前景化されるものにはきまりがあるようなことが書いてあった。物事の結果とか動いているものは前景化されるという。「血が出ている」「鳥が飛んでいく」など。南瓜を牛蒡、グリーンピースと煮る。[花束の薔薇の花](#)を撮って仕事場に下り、日録をノートしてから、BlosxomBlogに入れる。それから、「MidnightPress」の原稿に掛かって、1時頃、豆腐厚揚げ入りの煮込み蕎麦で昼食。ちょっと仮眠して、コーヒーを飲んで仕事場に戻って原稿を書き継ぎ、書き上げる。『「書き言葉」を生きる』というタイトル。5時過ぎに岡田さんにメールで送る。居間に行って薩摩芋を食べお茶を飲んで、夕刊を見る。仕事場に戻って、ノートンのアンチウイルスソフトをダウンロードしたら、間違って、PowerBookG4上にWindows版をダウンロードしてしまう。仕方ないので、それをCD-Rに焼いてWindows2000に持っていくことにする。そして、Mac版はMacminiにインストールするために最近のバージョンを買ってきたのを思い出して探して、インストールする。Macでダウンロードしたのは、Windows2000にインストールした。その設定に時間が掛かる間、1994年頃撮った多摩美の合宿などを撮ったHi8のテープを見る。南瓜の煮付けと焼き魚、それにビーフンの野菜炒めを麻理が作って夕食。食後もHi8のテープを見て、9時から「相棒」を見て、メールして、その後更にHi8を見ていたら、テープが止まってしまう、デッキから出せなくなった。ノートンのファイルのチェックはまだ止まらない。PowerBookG4に戻って、「灰皿町blog日記」を書く。

00:21:22 - shirouyasu - No comments

2006-02-01

多摩美映像演劇学科1年生の[企画制作発表会](#)。

31日の朝、トイレで読んだ「認知言語学原理」には、事態を統合して捉える場合と離散的に捉える場合のことが書いてあった。「そのチームは名前を変えた」はチーム全体を統合的に捉えている。「そのチームはそれぞれ技を競っている」はチームの一人一人に目を向けて離散的に捉えているというわけ。[花束のかすみ草](#)を撮って、仕事場に下りて、日録をノートしてから、BlosxomBlogに入れる。降り出した雨の中、11時過ぎに家を出て地下鉄で多摩美へ。上野毛のさくら庵でおかめ蕎

麦。帰りがけに主人が長野から送ってきたという林檎を一個くれた。多摩美の研究室で1時の約束の山峰君を待ったが来ないで、ずっと遅く来た。2時から講堂で上映された映像作品を皮切りに、演劇スタジオの上演を見て、B棟の上演を見て、本館の教室を映画館風に設定した会場で映像作品を見て、講堂での上演を見て、食堂でハヤシライスを食べ、本館教室の上映を見て、鏡の間での上演を見て、それから映像スタジオでの上映と見て、最後に中庭に作られた羊羹のピラミッドを見た。一番下に120個の羊羹が並べられて、上に行くほどに4個ずつ少なくなって30段目で一個になるというピラミッドだった。後で余った羊羹を一個貰って食べて、今日の発表会の全作品を見終わった。11時近く下校。地下鉄で帰宅。桜新町で下車した木村さんと発表会の作品について話した。帰宅して、貰った林檎、薩摩芋、生八つ橋、煎餅、牛乳。夕刊を見る。仕事場に下りて、「灰皿町blog日記」を書く。

01:28:07 - shirouyasu - No comments